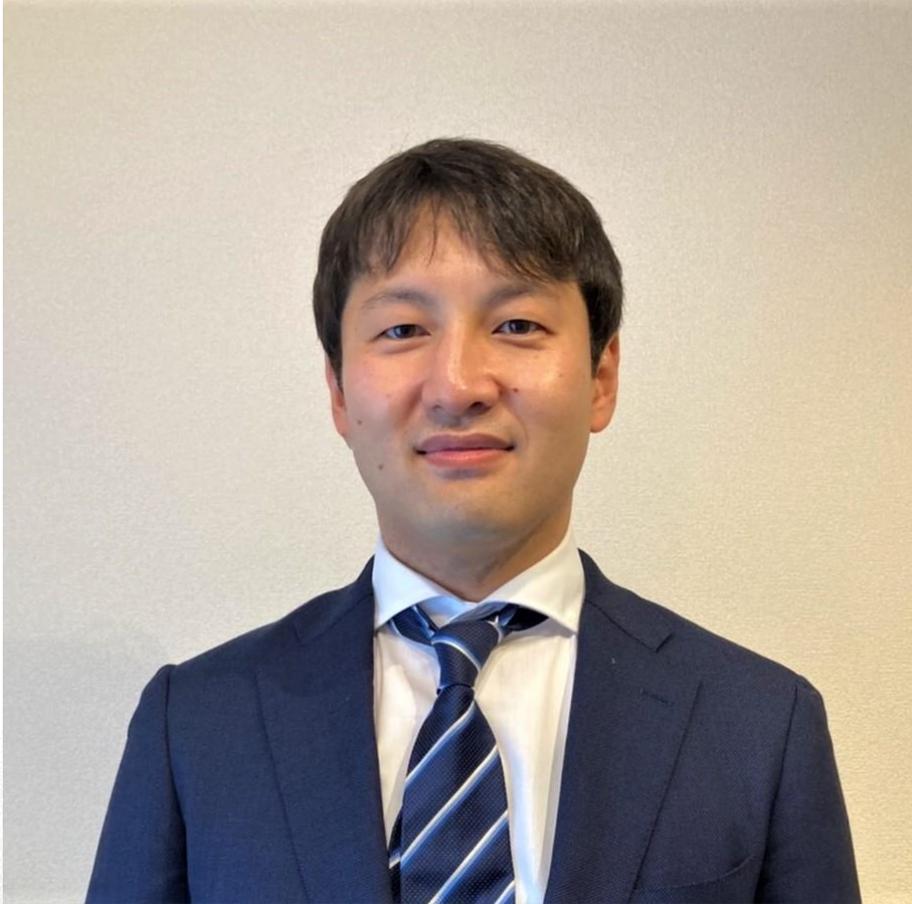


Innovation
design
Platform



代表者:

慶應義塾大学 大槻 雄士

採択テーマ:

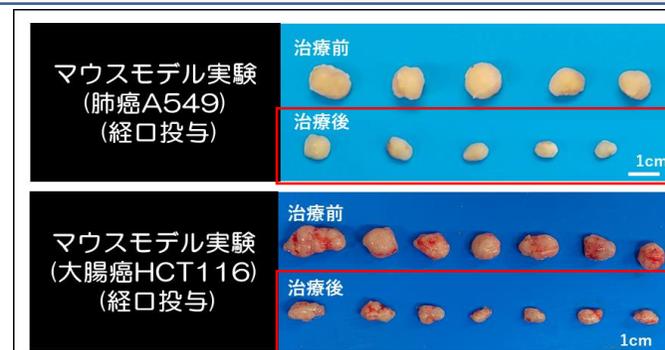
酸化ストレスを利用した新規
抗がん剤の開発

課題名

酸化ストレスを利用した新規抗がん剤の開発

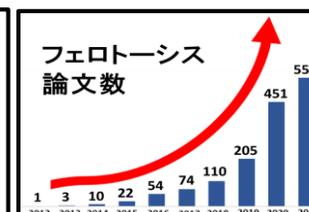
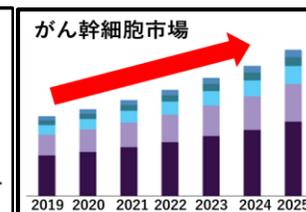
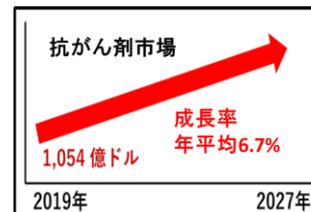
技術シーズの概要

- 治療抵抗性: がん幹細胞が重要な役割
特に、**フェロトーシス(酸化ストレスによる細胞死)回避機構**が重要
 - ① 活性酸素の上昇を防ぐシスチントランスポーター **xCT**
 - ② 細胞傷害性アルデヒドの分解を行うアルデヒド脱水素酵素 **ALDH**
 → 多くの癌種で同時阻害による強力なフェロトーシス誘導
 → **独自の新規治療法の開発** ※特許申請あり



ビジネスモデル(申請時)

- ドラッグリポジショニングを用いた新規治療薬の開発
 - 安全性と高い治療効果を両立
 - 複数の臓器での固形がんでの適応取得が可能
- ★ 安全性が高く、長期間内服が可能
 - 腫瘍縮小・増悪抑制の両面で治療可能
 - 長期処方による利益確保



▼フェロトーシス誘導療法の開発は世界的に未だ「ない」
米国にベンチャーが1社あるが具体的なパイプライン記載なし

活動計画(申請時)



※治験施設との相談も既に進めており、準備並行中 (CRC・データマネジメント体制構築、施設IRB承認取得準備など)